



遊びと学び

私たち夫婦には一男二女の三人の子どもがいる。同居はしていないため、孫の世話を日常的にすることはこれまでなかった。しかし、比較的近くに住んでいる末娘に孫が生まれてからは状況が少し変わってきた。夫婦共働きであるため、現在3歳になった孫が保育園に通うようになってからは、妻が保育園に迎えに行き、娘が仕事を終え引き取りに来るまで孫を預かっている。もっとも娘が育休中も、週の半分は我が家で子育てをしているようなものではあった。

ところで、その孫娘の姿を眺めているとこれが実に興味深い。(妻に言わせると、自分の子どももこれくらい見てほしかったと愚痴られるのだが) 特に積極的に孫の面倒を見ているというわけではなく、もっぱら遊び道具のおもちゃ類を提供する側であるのだが、孫が立ち歩きをするようになったときに購入した室内用トランポリンはおすすめである。初めは怖がって乗っているだけであったのが、しばらくすると少しずつ立ちあがっても転ばなくなり、半年もすれば一人前に飛び跳ねるようになった。その成長ぶりは見事であり、親ばか(爺バカ?)ではあるが、走るスピードも他の子に比べ速いように思う。

しかし、今どきの子どもの遊び道具には驚かされる。コロナの影響で公園に出かけることも減る中、何をしているか見ていると、テレビのユーチューブ動画の視聴だ。テレビは私たちの子どもも観させることはあったが、主にNHKの「おかあさんといっしょ」レベルであった。しかし今は、幼児用の動画が際限なくあふれている。内容的には観させる価値があるものも多いが、私的には絵本を読み聞かせたり自分でめくって活字を追うことの方が必要に思うのだが……。また、動画の視聴もテレビのみならず、ある時孫が母親のスマホを操作して観ているではないか。指の扱いなどは私以上に上手である。この姿を見れば文部科学省が提唱している「GIGA スクール構想」も納得である。

ある日仕事から帰ると、いきなり孫から私の寝室に来るように呼ばれた。何事かと思いながら向かうと寝室にある20年以上前からあるマッサージチェアに昇り降りする姿を見てほしかったようだ。現在私たち夫婦どちらもそこに座ることもないが、あまりにも重く片付けることもできずそこに置きっぱなしのものである。そういえば、以前からそれに興味を示し、その部屋に行くたびに登ろうと何度も試みていたが、少し大きすぎてなかなか登ることができていなかった。重くて倒れることもなく安全であるため自由にさせておいた。それがようやく登れるようになり、しかもいろんな角度から登ったり、飛び降りたりできるようになったため自慢したかったようである。

子どもは遊びをつくる天才とはよくいったものである。何も与えなくともそこにあるものを自分で遊び道具に変えてしまう。そういう姿を見ていると、子どもは遊びながら絶えず学んでいることを思い知らされる。幼稚園や保育園では遊びを通して学ぶ教育がなされているが、まさに子どもにとっては家庭も含めて自分の身の回りすべてが学びの場であろう。そしてそれは、小学校に上がった子どもにとっても同じではないだろうか。しかし、親というものは我が子がなぜか小学校に上がったとたんに、「遊んでばかりいないで勉強しなさい」と言うってしまう。何も机に向かってすることだけが勉強ではないことに気づくことも必要ではないだろうか。

人間発達学部 溝口哲夫

絵本の紹介

くつしたしろくん



作・絵：ザ・キャビンカンパニー
出版社：すずき出版

くつしたのしろくん、風に飛ばされてひとりぼっちになっちゃった。仲間を探しに行ったけれど、みんな相手がいるみたいで仲間に入れてもらえません。フラミンゴ、あり、ひつじ…。しろくんの仲間は、いったいどこにいったったのでしょうか…。

〈ボードブック〉

コロちゃんはどこ？



作：エリック・ヒル
訳：まつかわ まゆみ
出版社：評論社

世界中のこどもたちの人気もの、おちゃめでかわいいコイヌのコロちゃん登場。ごはんなのに、コロちゃんがない。ママがさがしにゆきます。ドアのうしろかな？ピアノのなかかな？それとも…？アツとおどろく楽しさいっぱい！大好評の〈しかけ絵本〉です。

手作りごはんの紹介

にんじんとしらすのおにぎり



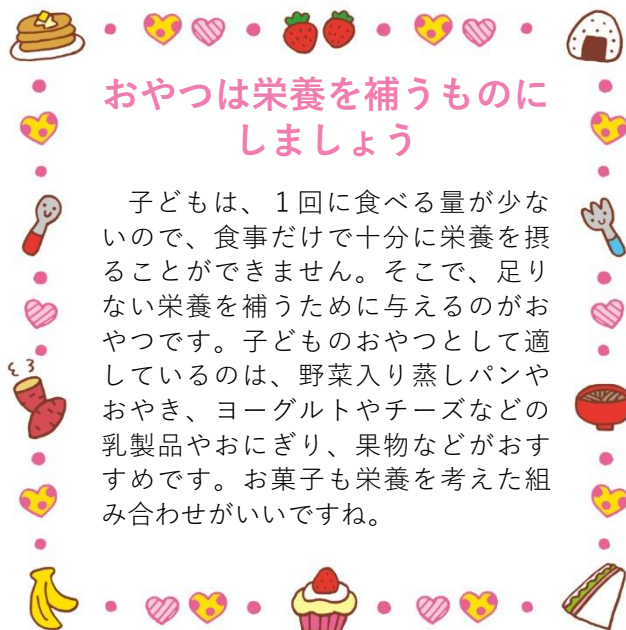
材 料

- ・にんじん…1/4本
- ・しらす…大さじ4
- ・油…少々
- ・ごはん…子ども茶碗2杯分
(約180g)

作り方

1. にんじんをすりおろす。
2. フライパンに油を敷き、**1**を水分が軽く飛ぶまで炒める。しらすを加えてパチパチとはねるまで炒める。
3. ごはんに、**2**を混ぜ合わせる。
4. ラップで食べやすい大きさににぎる。

にんじんの甘味としらすの塩気が合います。きれいなオレンジ色にも食欲をそそられて、にんじんが苦手な子も喜ぶおにぎりです。



おやつは栄養を補うものに しましょう

子どもは、1回に食べる量が少ないので、食事だけで十分に栄養を摂ることができません。そこで、足りない栄養を補うために与えるのがおやつです。子どものおやつとして適しているのは、野菜入り蒸しパンやおやき、ヨーグルトやチーズなどの乳製品やおにぎり、果物などがおすすめです。お菓子も栄養を考えた組み合わせがいいですね。

子どもが歩くこと

子どもは、自分で歩くことを何回も繰り返して、できたことに喜びを感じます。また、歩くことで得たさまざまなかわりを通して、「話し言葉」を獲得しはじめ、そのことに伴って「わかる」という認識能力が高まっています。

歩くあそび

1歳前半頃

おいでおいで

☆歩きはじめた子どもとのやり取りを楽しみます。

子どもから少し離れたところで「おいでおいで」と呼んでみましょう。言葉がけに応じて、バランスをとりながら歩きます。しりもちをつきながらも、見守られたり、励まされたりして、一人で立ち上がり、再び歩きます。

あんよはじょうず

☆歩行の安定につながります。

興味を持った所へ向かって歩いたり、砂や芝生、砂利などの抵抗のあるところを歩いたり、いろいろな場所で歩くことを楽しみます。歩く姿に合わせて、「あんよはじょうず」をうたうなど、気持ちに寄り添いましょう。

1歳後半頃

一緒にお散歩

☆歩行が安定してきた頃におすすめです。

引っ張るおもちゃの紐を片手で握って、腕を身体の後ろに伸ばし、引っ張って動かします。慣れてきたら、お気に入りのおもちゃを相棒に散歩に出かけましょう。

かくれんぼ

☆歩いて探したり、隠れたり、歩くあそびを十分に楽しみます。

机の下など、子どもから少し離れた所へ「いないよー」と言いながら隠れます。子どもがみつけやすいようにしておき、見つけにきたら「ばあ」と言ってです。

子どもは怖いもの知らずで、親が気にかけていても、いつの間にか「危ない！」と思うときがあります。子どもはさまざまなことに進んで取り組み、自分の能力を伸ばそうとする力があります。事故やケガを起こさないための対策は何よりも大切ですが、安全を優先してばかりでは、発達を抑制することになってしまいます。子どもの遊びを見守り、子どもの力を見極めて、いろいろなことに挑戦させたいですね。日常生活の中でよく起こる子どもの急なケガに対処できるよう、手当の方法を覚えておくといいですね。

すり傷・切り傷

- 土や砂などで汚れた傷口はそのままにしておくとは膿んだり、傷の治りに支障をきたす場合があります。浅い傷であれば、傷口と傷口の周囲の汚れを水道水できれいに洗い流します。傷口が気になる場合は絆創膏などを貼ってください。傷はなるべく乾かさないようにするのがポイントです。

打撲・ねんざ

- ねんざや打撲をした場合は、動かさず、安静にしてください。患部にタオルや布を当ててから、氷などで冷やします。冷やしすぎないようにしましょう。テーピングや包帯をやや圧迫気味にまいて、患部を抑えて固定します。

歩き始めから1~2歳くらいは、転んでもすぐに手が出ません。頭から突っ込んで転ぶため、顔のすり傷や打撲が多くなります。3歳くらいになると、手やひざをつくことができるようになり、手のひらやひざのすり傷が多くなります。転んだときに尖ったものがあると刺さってしまうことがあります。危険がないように気をつけましょう。

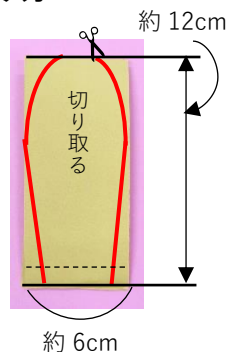
手作りおもちゃの紹介

紙コップみのむし



- 材 料 ・画用紙・紐・のり
・シール、折り紙、クレヨンなど

作り方



- ① 2つ折りにした色画用紙を切り取る。
- ② 底面から1cmのところを谷折りする。

- ③ 画用紙の間に紐を通して、紙コップの底に貼る。



- ④ 紙コップのみのむしにシールを貼ったり、クレヨンでかいたり、折り紙をちぎって貼ったりして遊みましょう。落ち葉を貼ったり、枝などに掛けたりしてもすてきです。

にこにこワークショップ

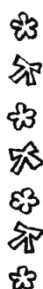
再開のお知らせ(11月4日～)

コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止しておりましたが、11月4日(木)から再開させていただきます。当面の間、事前予約制とし、定員7組までの利用とさせていただきます。お手数をおかけしますが、安心して参加いただけるよう、ご理解ご協力をお願いいたします。みなさまにお会いできる日を楽しみにしています。



←ご利用予約はコチラ

子育てメール相談

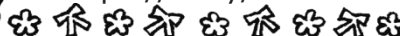


✿ メールで子育て相談を実施しています。しつ ✿
✿ け、遊び、ことば、発達など子育てに悩んだとき ✿
✿ や困ったときは、お気軽にご相談ください。メール ✿
✿ の回答までには1~2週間程度お時間がかかる ✿
✿ 場合もあります。ご了承ください。

ご相談フォーム →



<https://bit.ly/2FMJEct>



← Twitter